

最新 基礎看護技術 DVD シリーズ



総監修のことば



聖路加看護大学 教授
菱沼 典子

このDVDは学生や新人ナースに、その時その場で必要な技術の引き出しとして、活用してほしいと願っています。活用にあたって、心に留めてほしいことがふたつあります。一つは、この技術を勉強したから使いたいではなく、相手のニーズに応えるために、状況のアセスメント、技術の選択、実施のプロセスを踏んで欲しいことです。もう一つは、ここで示した考え方、道具や手順は、現在妥当と考えられている基本形だということです。道具は進歩し、原理がわからなくても使える時代になっていますが、プロフェッショナルを目指す基礎学習では、原理を示す基本形を学ぶことが大切です。原理がわかれば、臨床での応用が可能になります。このDVDで基本をマスターし、相手に合う応用編を考えていって下さい。

技術があって実践が可能になります。このDVDから、たくさんの技術を各自の引き出しに移して欲しいと思っています。

推薦のことば



聖路加看護大学 学長
井部 俊子

最新基礎看護技術 DVD シリーズは全 24 巻で構成される。そのうち、排泄ケアは 4 巻 (10 技術)、食事ケアが 2 巻 (5 技術)、移動は 2 巻 (9 技術)、清潔ケアは 8 巻 (25 技術) であり「モーニングケア・イブニングケア」も含まれる。感染管理、吸引、注射などの診療に関するケアは 8 巻 (28 技術) で、「看護実習の心構えと実際」でしめくられる。

各技術ユニットは、講義用と学生の自習用があり選択できる。また人体模型を使わず、本物のひとと本物の看護師が登場する。看護師は手洗いから始め、ベッド上の患者の氏名を確認し、ケアの目的、所要時間を説明する。安全性を確保し安楽にケアを行うことが、所作の様式美として表れている。すべての看護ケア技術の原点がここにある。それはまるで茶道のお点前のように美しい。これもこの教材の魅力である。われわれは、看護のサイエンスとアートの原初をここにみる。

※聖路加看護大学は 2014 年 4 月より聖路加国際大学 看護学部と名称が変更されました。

制作・発行

丸善出版株式会社 映像メディア部
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
神田神保町ビル6階
電話 (03) 3512-3252 FAX: (03) 3512-3271
<http://pub.maruzen.co.jp/>

お問合せ・ご注文は下記までどうぞ。



MARUZEN
AUDIOVISUAL
LIBRARY

DVD
VIDEO

最新 基礎看護技術

DVD シリーズ 全24巻

セット価格 672,000 円+税 各巻価格 28,000 円+税

総監修 菱沼 典子 聖路加看護大学 教授
監修・指導 佐居 由美 聖路加看護大学 准教授
大久保 暢子 聖路加看護大学 准教授
伊東 美奈子 聖路加看護大学 助教
大橋 久美子 聖路加看護大学 助教
蜂ヶ崎 令子 聖路加看護大学大学院 博士後期課程

制作・著作 丸善出版株式会社

MARUZEN

実際のモデルを用いた他に類の無い画期的な看護技術教材!!

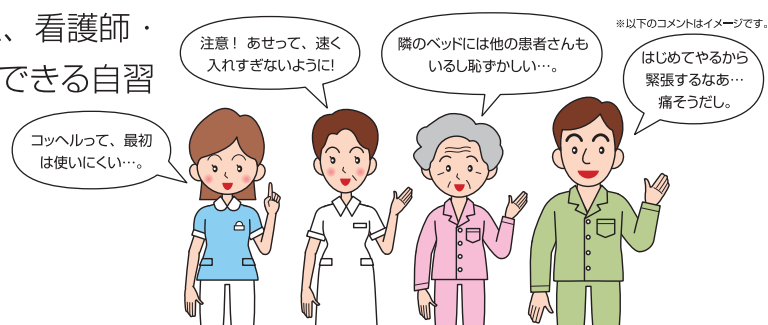
最新 基礎看護技術 DVD シリーズ 全24巻

全編に亘り実際のモデルを起用!

臨床時のリアリティショックを軽減するために人体模型は一切使用せず、実際のモデルを起用して制作。

講義用(教員用)と自習用(学生用)の2バージョン構成!

教員にとって講義で使い易い講義用バージョンと、看護師・学生・患者それぞれの目線でのコメントを視聴できる自習用バージョンの2通りを選択可能。



I 排泄・食事・移動 編全8巻



第1巻 グリセリン浣腸・排便 (50分)

- グリセリン浣腸 浣腸のアセスメント/浣腸の準備/浣腸の実施
- 排便 排便のアセスメント/排便の準備/排便の実施

第2巻 便器・尿器のあて方・ポータブルトイレへの移動 (46分)

- 便器・尿器のあて方 便器の介助/便器介助の準備/便器介助の実施/尿器の介助/尿器介助の準備/尿器介助の実施
- ポータブルトイレでの排泄 ポータブルトイレの準備/ポータブルトイレ介助の実施

第3巻 導尿 (49分)

- 導尿 ~女性患者の場合~ 導尿の準備/導尿の実施
- 導尿 ~男性患者の場合~ 導尿の準備/導尿の実施

第4巻 膀胱留置カテーテル (54分)

- 膀胱留置カテーテルの挿入 ~女性患者の場合~ 挿入の準備/挿入の実施
- 膀胱留置カテーテルの挿入 ~男性患者の場合~ 挿入の準備/挿入の実施
- 膀胱留置カテーテルの管理 蓄尿バッグ内の尿の排出
- 膀胱留置カテーテルの抜去 抜去の準備/抜去の実施

第5巻 食事介助 (48分)

- 配膳 配膳の準備/配膳 ~端座位の場合~/配膳 ~側臥位の場合~
- 下膳 下膳 ~端座位の場合~/下膳 ~側臥位の場合~
- 食事介助 食事介助 ~右片麻痺患者の場合~

第6巻 経管栄養 (49分)

- 経鼻経管栄養法 経鼻栄養チューブの管理
- 胃瘻栄養法 胃瘻カテーテルの管理

第7巻 体位変換・体位保持 (49分)

- 体位変換・体位保持実施のポイントとアセスメント
- 端座位から仰臥位
- 仰臥位から右側臥位
- 仰臥位からファーラー位
- 仰臥位から端座位 仰臥位から端座位 ~全介助の場合~/仰臥位から端座位 ~部分介助の場合~

第8巻 車椅子移動・ストレッチャー移動 (59分)

- 車椅子移動 実施のポイントとアセスメント/ベッドから車椅子への移動/車椅子からベッドへの移動
- 車椅子移送
- ストレッチャー移動 ベッドからストレッチャーへの移動/ストレッチャーからベッドへの移動
- ストレッチャー移送

II 清潔 編全8巻



第1巻 環境整備・ベッドメイキング (56分)

- 環境整備
- ベッドメイキング ベッドメイキングの準備/ベッドメイキングの実施
- リネン交換 リネン交換の準備/リネン交換の実施

第2巻 寝衣交換・おむつ交換 (53分)

- 寝衣交換 挿入物や麻痺のない場合 寝衣交換の準備/寝衣交換の実施
- 寝衣交換 挿入物(点滴)のある場合 ※輸液ポンプを含む 寝衣交換の実施
- 寝衣交換 体腔内にドレーンが挿入されている場合 寝衣交換の実施
- 寝衣交換 片麻痺・全身麻痺の場合 寝衣交換の実施
- おむつ交換 おむつ交換の準備/おむつの選び方/おむつ交換の実施
- ★ 寝衣交換の実施 浴衣の場合

第3巻 全身清拭 (55分)

- 全身清拭の準備
- 全身清拭の実施 上肢の清拭/頸部の清拭/胸部の清拭/腹部の清拭/背部の清拭/殿部の清拭/下肢の清拭

第4巻 陰部洗浄 (40分)

- 陰部洗浄~おむつを使用して行う場合~ 陰部洗浄の準備/陰部洗浄の実施
- 陰部洗浄~便器を使用して行う場合~ 陰部洗浄の準備/陰部洗浄の実施

第5巻 洗髪 (51分)

- 洗髪~ケリーベッド使用~ 洗髪の準備/洗髪の実施
- 洗髪~洗髪車使用~ 洗髪の準備/洗髪の実施
- 洗髪~洗髪台使用~ 洗髪の準備/洗髪の実施
- 洗髪~ドライシャンプー使用~ 洗髪の準備/洗髪の実施

第6巻 足浴・手浴・爪切り (30分)

- 足浴 足浴の準備/足浴の実施
- 手浴 手浴の準備/手浴の実施
- 爪切り 爪切りの準備/爪切りの実施

第7巻 入浴・シャワー浴 (49分)

- 通常入浴 通常入浴の準備/通常入浴の実施
- エレベーターバス エレベーターバスの準備/エレベーターバスの実施
- シャワー浴 シャワー浴の準備/シャワー浴の実施

第8巻 モーニングケア・イブニングケア・口腔ケア (51分)

- モーニングケア モーニングケアの準備/モーニングケアの実施
- イブニングケア イブニングケアの準備/イブニングケアの実施
- 口腔ケア~全介助の場合~ 口腔ケアの準備/口腔ケアの実施/義歯の取り扱い

III 診療・その他 編全8巻



第1巻 感染管理 (49分)

- 感染対策の基本
- 手指衛生 衛生的な手洗い(流水と石けんによる手洗い・擦り手消毒)
- 無菌操作 滅菌物の取り扱い/滅菌手袋の装着と脱ぎ方
- 個人防護具(PPE)の取り扱い 着用の目的と防護具の特徴/着用・装着/脱ぎ方・廃棄方法
- 汚染物の取り扱い 感染性廃棄物の処理/鋭利な物の処理
- 感染症のある患者の病室への入退室

第2巻 吸引・酸素療法 (54分)

- 吸引とは
- 口腔内・鼻腔内吸引 必要物品/口腔内・鼻腔内吸引の実施準備/口腔内・鼻腔内吸引の実施
- 気管内吸引 必要物品/気管内吸引の実施準備/気管内吸引の実施
- 酸素療法 酸素投与準備/鼻腔カニューレによる酸素投与

第3巻 採血・血糖測定 (44分)

- 静脈血採血 直針と注射器を使用する場合/針付真空採血ホルダーを使用する場合/真空採血ホルダーと翼状針を使用する場合/採血の合併症とその対応
- 簡易血糖測定

第4巻 筋肉注射・皮下注射・皮内注射 (44分)

- 筋肉注射 5Rの確認/アンブルカット/注射部位の決定/針の刺入の角度・深さ/中殿筋に注射する場合/三角筋部に注射する場合
- 皮下注射 5Rの確認/バイアルからの吸引/注射部位の決定/針の刺入の角度・深さ/上腕後面に注射する場合/三角筋部に注射する場合
- 皮内注射 注射部位/針の刺入

第5巻 点滴静脈内注射 (58分)

- 注射に使用する物品 注射共通の留意事項(正しい与薬、感染予防)
- 点滴静脈内注射 点滴静脈内注射の留意事項/合併症/静脈内留置針を挿入する場合/翼状針を使用する場合/薬剤を溶解し三方活栓に投与する場合/滴下数の計算/輸液中の患者の観察
- 自動輸液ポンプを使用する場合 ● シリンジポンプを使用する場合
- 生食(ヘパリン)ロック ● 抜針 ● 静脈注射(フンショット)

第6巻 与薬 (59分)

- 実施前 処方の確認/準備・薬剤の照合/患者の確認と説明
- 実施 経口与薬・口腔内与薬/吸入~定量式携帯吸入器の場合~/点眼法/点耳法/点鼻法/単純塗布法~軟膏・皮膚に貼付する薬~/直腸内与薬
- 実施後 投与後の薬剤の照合/片付け/観察・記録

第7巻 電法 (54分)

- 電法の種類と目的
- 温電法 アセスメント/湯たんぽ・温湿布・ホットパックの準備と実施/実施時の観察/片づけ/記録
- 冷電法 アセスメント/氷枕・氷嚢・保冷枕の準備と実施/実施時の観察/片づけ/記録

第8巻 看護実習の心構えと実際 (37分)

- 実習前 目的・目標の把握/体調管理
- 実習中 身だしなみ/実習中の態度(マナー)/積極的参加/患者中心のケア/安全管理/個人情報管理/守秘義務/報告・連絡・相談/健康管理/ハラスメント
- 実習後